

オンライン授業 の背景

コロナと ICT 化のゆくえ

2021 年 4 月 15 日録画

○昨年 2020 年 8 月に日生連 ZOOM 集会で報告したレジュメ（この文書の後ろの方）を使って説明します。この書類は、pdf で配布しています。下線が引いてあるのは、リンクがはってあるので、説明がなくともリンク先にとんで研究してみてください。

○その後 8 か月たち、年度もかわりました。最新の状況を調べるとともに、この 1 年、そしてこの 4 月、どうなっているのか、調べ、まとめ、そして、これからどうしていけばいいのか考えましょう。

○なお、「オンライン授業」としては、私は 2020 年度は、すべての授業をオンラインの同期型（いわゆるライブ）でやりました。動画か文書を各自が視聴できるときに視聴し、課題や小テストを提出する、いわゆるオンデマンド型はほとんど経験がない。反応がわかりにくい。

○新しいものとして、

①最新の学校教育の政策的動向です。【概要】（13 ページ）を読もう！ ICT は 11 ページ。
「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（答申）（中教審第 228 号）2021 年 1 月 26 日

https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/079/sonota/1412985_00002.htm

もしくは、<http://kodomo.kitanagoya.org/2014z2/img/554.pdf>

②加藤聡一「教育情報 オモテとウラ オンライン授業とその先にある ICT のつくる未来」『生活教育』（生活ジャーナル）2020 年 12/1 月号 pp. 36-37

<http://kodomo.kitanagoya.org/2014z2/img/759.pdf>

③加藤聡一「ゲームと生活教育—欲望と豊かな人生」『生活教育』（生活ジャーナル）2021 年 4/5 月号 pp. 20-25

<http://kodomo.kitanagoya.org/2014z2/img/760.pdf>

【直近の課題】

- ① コロナが密を避けるということで、ディスタンス（距離）をとる文化をつくりだしています。ICTは、距離をとることが得意です。逆に、その場にみんないるのに（ディスタンスゼロ）、1人1台のPCを活用するのが「難しく」なっています。使わないという選択肢もあります。使うとすればどんな教育実践が考えられるのでしょうか。
- ② 履修登録するシステムと、授業で使うシステムの連携ができていません。

LMS（学習管理システム
Learning Management
System）
大学によってちがう

Classroom（Google）←Chrome
Teams（Microsoft）←Edge
Moodle

小中高では、どうなっているのでしょうか

- ③ スマホ（iPhone含む）とPCの関係

PCは画面が広く、キーボードで入力できる利点があります。

大学のオンライン授業を、スマホで「やりすごそう」とすると、「危険」です。

動画 【スマホだけは不足！ パソコンが必要な理由とは――若い方はスマホしか使わないケースも少なくないようです。なぜそれでは物足りないのか、紹介していきます。】 戸田 覚 15分

【生活教育とは】

生活陶冶 (ペスタロッチー)

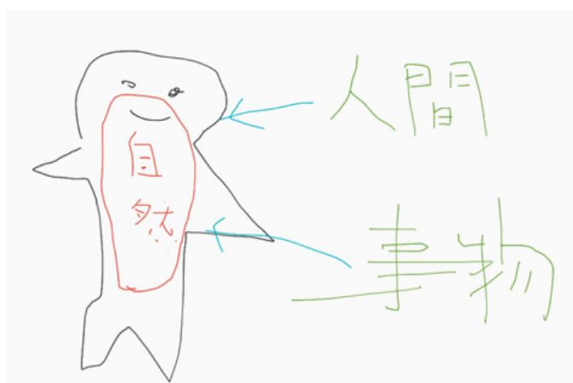
2種類の life $life\alpha = \text{内なる自然}\cdot\text{いのち}$ \Leftrightarrow $life\beta = \text{生活}\cdot\text{環境}$

☆相互作用をつかむ、それぞれ丸ごとつかむ \hookrightarrow 人・もの・コト

主体が育つ (妨げない) \Leftrightarrow 主体を育む

感覚だけでなく理性も。リアルだけでなくバーチャルも。経験も系統も。

☆新しいもので遊ぶ エンジョイ文化 $enjoy = \text{享受}$ 楽しい・権利の行使



ルソー

\hookrightarrow 逆向きの矢印も大事！ 衝動、興味・関心、職分を活かす

【GIGA スクール構想】

文科省 「GIGA スクール構想の実現について」

https://www.mext.go.jp/a_menu/other/index_00001.htm

1人1台 3OS \rightarrow 対応パッケージ 商品カタログ

↓

経産省 「未来の教室」 <https://www.learning-innovation.go.jp/db-list/>

EdTech サービス ロイロノートもその一つ

【Society5.0】

内閣府 https://www8.cao.go.jp/cstp/society5_0/

サイバー空間 (仮想空間) とフィジカル空間 (現実空間) を高度に融合させたシステム

※Huawei 5G 優位 \leftarrow 中国系としてアメリカが締め出す

米国の「5G クリーンネットワーク」企業にソフトバンクと楽天追加

生活教育 eYe 「ICT化」 「5Gのつくる情報社会」


【見取り図】 3つのセクター（通常の使い方とちがいます） + 家庭・親 地域


☆コロナ下、大学はオンライン一気に導入→使いこなせる世代出現

☆LMS（学習管理システム Learning Management System）をこえて社会のあり方

↳履修システムとのかべ（履修登録、シラバス作成など） 境界が問題


企業セクター 労働者 利潤とイノベーション


 Google Chrome
ドキュメント、スプレッドシート、スライド
Classroom Meet YouTube・・・
Google earth Forms 課題・採点

 Microsoft Edge
Windows10
Office365 Word Excel Powerpoint
Teams（旧ハングアウト）

 Apple Safari
iPad iPhone
Pages Numbers Keynote

 Amazon  FaceBook  ZOOM




 ロイロノート <https://n.loilo.tv/ja/>

 Classi（ベネッセ+ソフトバンク系）

 教科書会社

国家・行政・自治体（地方政府）セクター

国民・市民


 アメリカ  日本  中国
高度な国民管理 軍事(www)
ウイグル族・チベット族


内閣府 経産省 文科省

トヨタ「ウーブン・シティ(Woven City)」

トマトをAIで育てるように

AIで子育て

 スタンダード

 教科書会社

社会に開かれた教育課程（新学習指導要領） 地域学校協働

○全体的には→文部科学省「学校と地域でつくる学びの未来」

『地域学校協働活動パンフレット(平成30年1月)』 3MB

公 共 セ ク タ ー 人間

学校

☆生活教育のそれぞれの視点で、活用できる可能性と危険性を考える

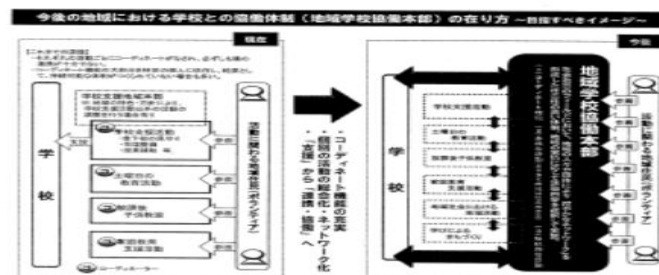
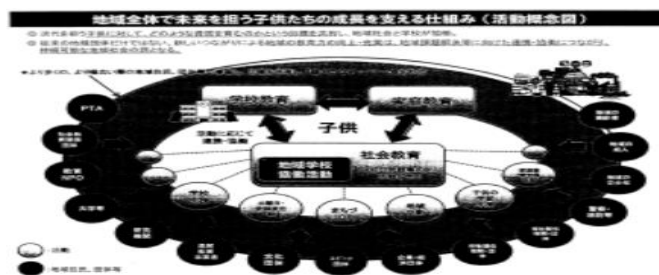
『希望をつむぐ教育』

+ 田村論文「学校再開と生活教育—生活主体が育つ学校への

4つの指針」（『生活教育』8/9月号 pp.21-25）

- (1) 「困った」子は、「困ってる」子
- (2) なかまとつながり、生活を創る
- (3) 易しいことは、深いこと
- (4) 自分が見え、世界をよみとく学び

- 子どもを深く理解し受けとめる
- つながりを創る
- 本当に必要な学びを進める
- 生活主体が成長できる学校を



☆ツールに支配されるのではなく、文化としてエンジョイシ（あそび）、活用する。

○「ゼミ」（文献講読）にはけっこう効果的だった。レジュメ切って議論。

○実際そこにいるのに「グループ活動」をわざわざ ICT でやるのは難しい。

黒板、ノート、プリントのすごさ OHC も意外に使われなかった。

○富岡実践 Geo から 使わない方法（「消極教育」）もある

○新たな働き方、新しいストレス

【参考 検索キーワード】 twitter で検索するとおもしろい

#経済産業省 #Edtech 研究会 #学びを止めない未来の教室 #社会全体が学びの場

#Society5.0 for SDGs #中西弘明（日立） #未来投資戦略 2017

#GIGA スクール #個別最適化 #STEAM 教育 #Scratch3.0 (#micro:bit)

#ロイロノート・スクール #Classi←「オクリンク」ベネッセ

【コロナ関連タイムライン】 2020 年 6 月まで

必要なこと・新しいことをどこまで自発的にやったか

東京都で感染者が増えつつあるが、6月30日現在、日本国内で、感染確認：1万8631人、重症：43人、死亡：972人、退院：1万6557人（NHKまとめ）で、抗体陽性率は東京都で0・1%（6月16日厚労省検査）なので、全体として、国民全体の努力で、コロナは押さえ込んでいるとあってよい。昨年のインフルエンザでは1月だけで1685人亡くなっている（厚労省による）、この努力はすさまじいものであった。

1月23日 中国の湖北省武漢市、都市封鎖（ロックダウン）（4月8日に解除）

2月27日 安倍首相、全国の小中学校と高校・特別支援学校に**臨時休校を要請**（3月2日から春休みの期間で。新型コロナウイルス感染症対策本部）。実際休校するかどうかは学校や地方自治体の判断。休暇取得などへの環境整備に協力するよう各企業に呼びかけ。

3月5日 安倍首相、中国や韓国からの入国者に対し、宿泊施設や医療施設など検疫所長の指定する場所で2週間待機し、公共交通機関を利用しないことを要請（新型コロナウイルス感染症対策本部）。習近平国家主席の来日延期発表。

3月11日 WHO、パンデミックを宣言

3月14日 新型インフルエンザ等対策特別措置法施行

3月19日 専門家会議の「新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言」

3月24日 東京オリンピック・パラリンピック延期決定（IOC・大会組織委員会）

3月25日 『生活教育』4/5月号発売（特集「文化を創造し享受<enjoy>する学校」）

3月27日 令和2年度予算成立

3月28日 北海道生活教育研究会3月例会、ZOOMで実施（初）。

3月29日 志村けんさんコロナ感染で死去

4月7日 **緊急事態宣言**の発令（改正新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく。5月6日まで。埼玉、千葉、東京、神奈川、大阪、兵庫、福岡の7都府県）。措置法外で独自に、愛知、岐阜、三重、北海道、香川などが「宣言」。

4月10日 日生連常任委員会・拡大研究部初のZOOM会議（石川集会の1年延期を決定・発表）。

文科省「新型コロナウイルス感染症対策のための臨時休業等に伴い学校に登校できない児童生徒の学習指導について」（通知）

PCR検査で感染が確認された一日当たりの人数ピーク（厚労省分析）

4月16日 **緊急事態宣言（全国に拡大）**

4月25日 『生活教育』6／7月号発売（特集「子どもからの出発 教育は希望！ ～金森実践をつなぐ～」）

4月26日 日生連 Moodle 試験的設置

4月28日 入院患者数のピーク（厚労省分析）

4月29日 日生連編集部（拡大）、初のZOOM会議。8月号特集変更。

4月30日 令和2年度補正予算成立（特別定額給付金10万円・約13兆円など）

5月4日 **緊急事態宣言延長（5月末まで）**

5月8日 重症の患者数のピーク（厚労省分析）

5月25日 **緊急事態が終了した旨宣言**

6月5日 文科省「『学びの保障』総合対策パッケージ」

6月11日 中教審初等中等教育分科会「新しい時代の初等中等教育の在り方特別部会」第9回 「新しい教育様式」

6月12日 令和2年度第2次補正予算成立

6月18日 検察当局は18日、前法相で衆院議員の河井克行容疑者（57）＝衆院広島3区＝と、広島選挙区で初当選した妻の案里容疑者（46）をそれぞれ公選法違反（買収）の疑いで逮捕 →7月8日起訴

6月20日 日生連第1回ZOOM集会「学校再開と生活教育」（谷保裕子実践報告）

6月23日 外出禁止や休業を強制できる法改正必要62% NHK世論調査

6月26日 中曽根さん実践報告「私たちの米作り～やりたいこと 何でも 棚田～（3年総合的学習）」（金沢サークル）→7月5日 日生連会員MLでまとめ報告

【主体性】 生活教育は、これに「エンジョイ文化！」の視点を持つ

「直面する様々な変化を柔軟に受け止め、感性を豊かに働かせながら、どのような未来を創っていくのか、どのように社会や人生をよりよいものにしていくのかを考え、主体的に学び続けて自ら能力を引き出し、自分なりに試行錯誤したり、多様な他者と協働したりして、新たな価値を生み出していくために必要な力を身に付け」（中教審答申第197号、2016年）
→ 小学校でこの4月から全面実施の学習指導要領

（生涯学習の理念）第三条 国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない